

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23 (9)	利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握を強化する。	センター方式に沿った利用者意向の察知。	センター方式のフォーマットを活用して、ケアプランに盛り込んでいく。	6ヶ月
2	13	職員それぞれの介護技術や知識にばらつきがある。	一体的な介護の提供。	先輩職員や保健師・介護福祉士・ケアマネージャーなどの有資格者から指導を受ける。また、内外部の研修を積極的に受講し、全員が学べる機会を作る。	12ヶ月
3	35 (13)	災害対策で訓練や避難誘導にとどまらず、地域との協力体制を強化し行政等との調整を図り災害に備える。	災害時の一時避難所としての内容見直し。	運営推進会議を通して自治会と話し合う。防災関係部署(行政関係)等との調整を行う。備蓄品を7日分整備する。	18ヶ月
4	2 (2)	事業所(利用者)が地域の一員としての交流やつながりを強化する。	介護の専門分野としての地域貢献。	運営推進会議を通して自治会と話し合う。施設の専門分野から地域貢献として何ができるのかを議論し、介護相談や学習会の開催なども検討する。	24ヵ月
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。